

Fujitsu モダナイゼーションリライトサービス

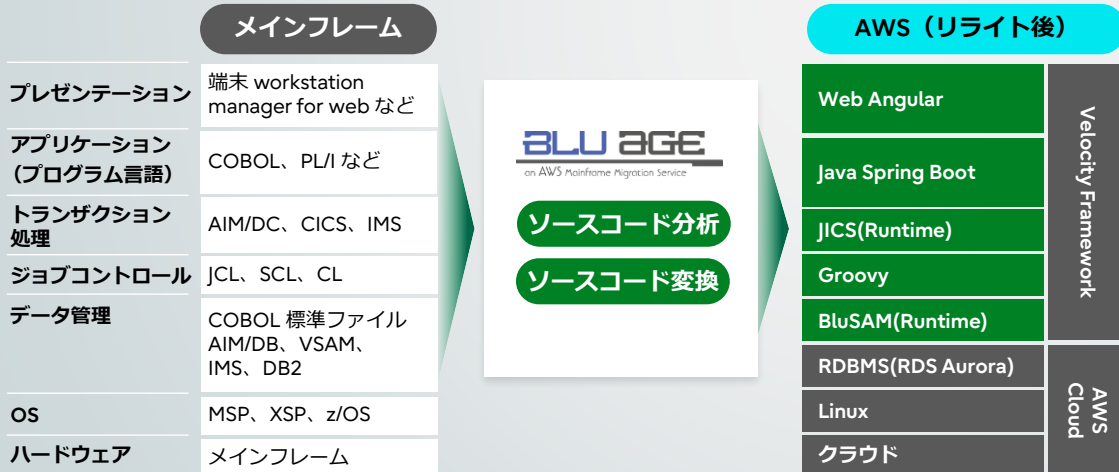
AWS Blu Age

ソリューション概要のご紹介

今の資産を未来の資産へ。レガシーをクラウドネイティブへ導く [AWS Blu Age]

「AWS Blu Age」は、メインフレームで動作する資産（COBOL、JCL等）を、ソースコード分析機能や変換機能を用いて、Javaへ変換するAWS提供のツールを活用したリライトサービスです。

オブジェクト指向に準拠した高いコード品質、現新比較による業務機能の現行同一性担保、自動化によるテスト効率化により**短納期高品質なモダナイゼーションを実現します。**



AWS Blu Ageの特長

AWS Blu Age 2つの特長

特長 1



モダナイゼーション経験がないお客様 も移行が可能です。

- AWS Blu Ageを活用し、最新Javaアーキテクチャへソースコードを変換します。また、AWSプロフェッショナルサービスと連携し、AWS Blu Ageの導入・移行に関する技術支援を実施します。

特長 2



プロセスを標準化/自動化することで、移行 の期間短縮・費用圧縮を実現します。

- メインフレームモダナイゼーションのベストプラクティスを体系化し、標準化・自動化されたプロセスを適用します。AWS Blu Ageによるソースコード変換、現新比較テスト、品質確認を繰り返し実施することで、変換品質を最大限に高め、移行期間の短縮と費用圧縮を実現します。

AWS Blu Age を利用したモダナイゼーションの流れ

- Assessmentフェーズ** ソースコード全量からアプリケーションの現状を分析します。
 その上で、移行対象資産と移行後のアーキテクチャを検討し、潜在的な課題を明確化。これらを踏まえ、PoCの実施範囲を見極めます。
- PoCフェーズ** 実際のソースコードの一部を変換しモダナイズの実現性を検証します。
 この検証で、変換ルールの具体化や実装手段を検討し、本移行の成功に向けた指針を導きます。
- 本移行フェーズ** PoCで得た知見をベースに、メインフレーム環境をAWSクラウドへ全面的にモダナイズします。
 変換方針の調整で変換ルールを最適化し、全量変換でアプリケーションを完全移行。現新比較と受入テストで現行機能の同等性を確認し、高品質かつ安定稼働するモダンなシステムへの安全な移行を実現します。



※ 移行元LoC (コメント行含む行数)が1Mstep時の移行期間目安

更に詳しい情報はこちら



AWS Blu Age の事例や前提条件等 更に詳しい情報をご確認ください

富士通がご提案する
取組のモダナイゼーション
AWS Blu Age ご紹介

2025年10月
富士通株式会社

リライトサービス : AWS Blu Age

AWSクラウド環境へのオープン化をトピック
富士通 モダナイゼーションリライト
AWS Blu Age

メインフレーム
リライト事例

基幹業務の柔軟性を高めるため
クラウド化で最新技術に対応

| 課題 | 取り組み | 効果 |
|-----------------------------|-------------------------------|----------------------------|
| ・既存システムは複雑な構成で、保守コストが高騰している | ・AWSクラウド環境へのオープン化を実現し、柔軟性を高める | ・運用コストの削減と柔軟性の向上 |
| ・セキュリティ対策が厳格で、クラウド化が難しい | ・セキュリティ対策を強化し、クラウド環境での運用を実現 | ・セキュリティ対策の強化とクラウド環境での運用の実現 |

お問い合わせ先
お問い合わせ先
お問い合わせ先

資料をダウンロード

モダナイゼーションに関する お問い合わせ・ご相談

Webでのお問い合わせ

お問い合わせフォーム

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております。

ご不明な点やご要望などございましたら、
お気軽にお問い合わせください。

Road to 3X

Modernization

富士通の豊かな知見を束ねた、モダナイゼーションが示す道
DX SX GXまで伴走します。